

自分が暮らす 地域 で学びたい! という人には …

JICA国内拠点

全国15カ所にあるJICAの国内拠点では、「地域と途上国との結節点」として、市民、NGO、自治体、学校、民間企業などと連携を進め、地域の人々が世界に目を向ける機会を提供。グローバルな視点を持つ人たちが、全国各地から生まれている。

高校生が世界を体感! (高校生国際協力実体験プログラム from JICA九州)



JICA九州では、高校生に国際協力について理解を深めてもらうため、夏休みを利用した2泊3日の参加型プログラムを実施している。アフリカ地域からの研修員との交流会では、各国の食事情について高校生がインタビューに挑戦。「文化の違いに驚くことがたくさんあった」「コミュニケーションを取る難しさと楽しさを学んだ」と多くの刺激を受けていた。また、元青年海外協力隊員から実際の活動の話や、途上国でも信頼関係が大切であることを実感している様子だった。

さらに深く 世界 で学びたい! という人には …

大学生国際協力 フィールド・スタディ・プログラム

JICAが行うこのプログラムは、大学生が途上国でのミニ・フィールド調査演習を通して、グローバルな視点と問題発見・解決能力を身に付けることを支援する制度だ。毎年、長期休暇の期間を利用して、学生を途上国に派遣している。

村田 望さん

2013年度参加(ラオス)

大学時代、国際協力に関心はありながらも具体的なイメージを持てずにいたとき、掲示板でこのプログラムを知り、現場を知れるまたとない機会だと思って応募しました。ラオスで事業を展開している日本の製菓企業を視察した際、社会貢献活動として、現地の人材の雇用促進、周辺の学校や橋などの整備、さらには不発弾の除去も行っていることを知り、新しい国際協力の形を見ることができました。この経験を生かしたいと思い、帰国後は開発コンサルティング企業に就職しました。将来的には海外で水資源分野の業務に関わりたくです。



現地住民にアンケート調査を行った(後列左から2人目が村田さん)

江崎 那留穂さん

2013年度参加(ラオス)

教育開発に関心があり、以前、ネパールの孤児院でボランティアを行いました。短期間の滞在では本質的な問題やニーズを把握することはできませんでした。そこで、途上国の課題を深く理解するため、このプログラムに参加しました。最も感銘を受けたのは、ラオスの学校に本の配布などを行う日本のNGOの活動です。「本を読むことで自分の世界を広げてほしい」という代表の方の言葉が印象的で、多様な国際協力があることを改めて実感しました。今は大学院で、プログラムで学んだ調査手法を生かし、ネパールの修学実態の研究に励んでいます。



現地の学校を訪問。生徒たちの熱烈的な歓迎を受けた

世界を舞台に働きたい! 国際協力を携わりたい! でも何から始めればいいのか分からない。それなら、まずは世界の現状を知ることから始めてみてはどうだろう。楽しみながら世界を学ぶことができるさまざまなプログラムを紹介しよう。

知ろう! 学ぼう!



世界のじゆん

JICA地球ひろば 徹底解剖!

「市民参加による国際協力の拠点」として2006年に設立されたJICA地球ひろばは、展示やイベントなどを通じた学びの場や、市民団体の情報発信や交流の場として活用されている。ここに来れば、あなたに合った「国際協力」がきっと見つかるはず。

体験ゾーン

世界が直面する課題や日本の取り組みを体験型の展示で紹介。基本展示では、「貧困」「保健・医療」「教育」「子ども」「紛争」「水」「相互依存」の7つの体験ゾーンがあり、来場者は探検シートに書かれたクイズに挑戦しながら学びを深めることができる。

※9月15日から来年1月10日までは、基本展示に替わり、協力隊発足50周年に合わせた企画展示「世界に笑顔をひろげよう! ボランティアで国際協力」を開催。



途上国の子どもたちが普段運んでいる水と同じ重さのバケツ。持ってみると「重い!」と思わずびっくり



火薬や信管を抜いた実物の地雷が展示されている。恐る恐る手にする子どもと、それを見つめる人たちの表情にも緊張が走る



マラリアを予防するための蚊帳を体験。「蚊帳に使われている糸には殺虫剤が練り込まれていて、徐々に表面に出てくる構造になっています」と案内人の女性が説明

交流ゾーン

セミナールームや会議場では、年間を通じて国際協力に関するイベントやセミナーを開催。アジアやアフリカをテーマに工作に挑戦する企画や、世界遺産について学ぶセミナー、途上国を舞台に製作された映画の上映など、子どもから大人まで幅広い世代を対象にしたプログラムが用意されている。また、国際協力に関わる市民団体の情報発信や交流の場として、会議室の貸し出しも行っている。



大学生・若手社会人向けイベント「気軽にトークCAFE」

J's Cafe

施設内にある食堂「J's Cafe」では、さまざまな途上国の郷土料理を提供している。メニューは日替わりで、展示と連動した期間限定メニューも登場する。また、途上国で生産されたフェアトレード商品も販売されている。



「サンコーチョ・コン・アロス」from ドミニカ共和国
鶏肉、カボチャ、サトイモなどを煮込んだスープ。パーティーなどで振舞われる

地球案内人

地球ひろばを案内してくれるのは、「地球案内人」と呼ばれるガイドたち。それぞれが、青年海外協力隊など国際協力の経験者で、体験ゾーンでは展示について詳しく説明してくれる。



国際協力やボランティアに関するさまざまな相談も受け付けている

団体訪問者からの声

自分たちが日常的にしていることができない国が多いことを知り、びっくりした。
(大垣市立江並中学校)

同年代の子どもたちが日々懸命に生きているのを知り、一日一日を大切にしたいと思った。
(沼田ユネスコ協会)

将来どんな職業に就くか悩んでいたが、協力隊の活動を知り選択肢が広がった。
(駿河台大学)